

マックスフォース マグナムの 有効成分フィプロニルの接触致死効果（室内試験）

マックスフォース マグナムの殺虫有効成分フィプロニルは、食べて死ぬ効果はもちろん、接触致死効果があることが認められています。

1 試験

接触によるフィプロニルの致死効果を確認するため、実際にゴキブリの口を塞いだ状態でマックスフォース マグナムに接触させ、自然死の状態と差が出るかどうかを、2日間にわたって確認しました。接触致死効果は以下の考え方です。
[接触致死効果]=[何も食べさせず、薬剤接触試験で死んだ致死率]-[何も食べさせず薬剤も無い場合の致死率]

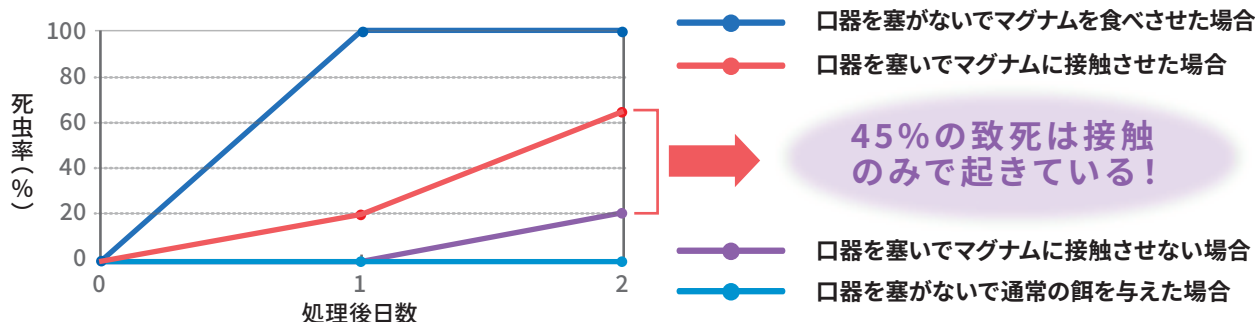
ゴキブリの口器を
塞いだ状態



2 結果

以下は実験の結果です。これらの致死率変化のグラフの中で注目するのは、赤い線と緑の線です。赤い線は何も食べられない中、2日間マックスフォース マグナムに接触してしまったゴキブリの致死率。緑の線は何も食べられないまま2日間で自然に死んだゴキブリの致死率。

これらの結果を上記の接触致死効果の考え方にあてはめると、[接触致死効果]=[何も食べさせず、薬剤接触試験で死んだ致死率]：赤い線-[何も食べさせず薬剤も無い場合の致死率]：紫の線”



試験機関 社内試験